感染症発生動向調査
2021年第27週
（7月5日～7月11日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が117例（男性76例（10歳代12例，20歳代32例，30歳代6例，40歳代10例，50歳代6例，60歳代4例，70歳代2例，80歳代1例，年齢非公開3例），女性40例（10歳代5例，20歳代19例，30歳代3例，40歳代2例，50歳代5例，60歳代2例，70歳代2例，80歳代1例，年齢非公開1例），性別及び年齢非公開1例）あり，本年の累積報告数は8,266例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が2例（30歳代男性及び20歳代女性）ありました。症状は腹痛，水様性下痢等で，感染経路はともに経口です。本年の累積報告数は11例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については，下記URLを御参照ください。
〇腸管出血性大腸菌感染症発生状況（衛生環境研究所ホームページ）
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html

・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が3例（50歳代男性，80歳代男性，90歳代女性各1例）ありました。本年の累積報告数は20例となりました。

・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例（80歳代女性）あり，本年の累積報告数は7例となりました。

・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例（70歳代女性）ありました。症状は発熱，菌血症です。本年の累積報告数は10例となりました。

・ **梅毒**の報告が2例（30歳代及び40歳代女性）ありました。いずれも感染地域は国内，感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は34例となりました。

・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は2.40で，前週の2.53から微減でしたが，依然として多い状態です。全国では今週5.04（前週4.13）で急激な増加が続いており，京都市でも，引き続き強い警戒が必要です。

◆ 今週のトピックス：＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が52人ありました（定点あたり報告数1.21）。全国の定点あたり報告数は0.61で，京都市は全国の約2倍と比較的多めになっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

・ **二類：結核 7例（肺結核 2例，その他結核 3例，潜在性結核感染者 2例）うち喀痰塗抹陽性 1例）**
【1月以降の累積報告数 131例（肺結核 45例，その他結核 38例，潜在性結核感染者 48例）うち喀痰塗抹陽性 20例】
・ **新型コロナウイルス感染症 117例**【1月以降の累積報告数8,266例】
・ **三類：腸管出血性大腸菌感染症 2例**【1月以降の累積報告数 11例】
・ **五類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例**【1月以降の累積報告数 20例】
・ **五類：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 7例】
・ **五類：侵襲性肺炎球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 10例】
・ **五類：梅毒 2例**【1月以降の累積報告数 34例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	0．00	0
小児科 （降順5位まで）	①　感染性胃腸炎	2．60	112
	②　RSウイルス感染症	2．40	103
	③　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1．21	52
	④　突発性発しん	0．26	11
	⑤　ヘルパンギーナ	0．14	6
眼科	流行性角結膜炎	0．00	0

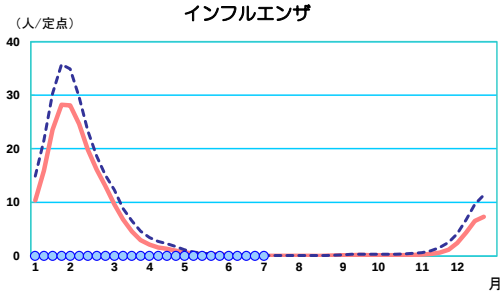
【次ページ以降の主な内容】
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（ 注 ）京都市のデータは，2021年7月14日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

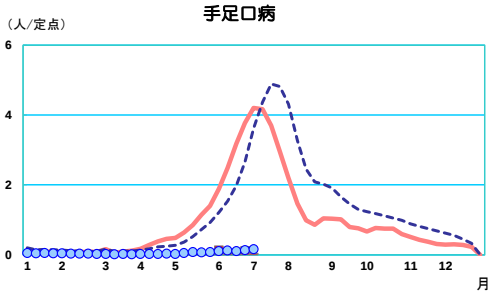
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）

京都市_本年　京都市_過去5年平均値
全国_本年　全国_過去5年平均値

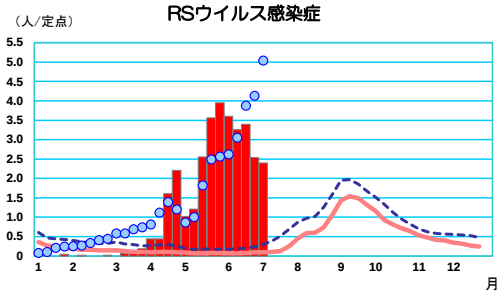
インフルエンザ



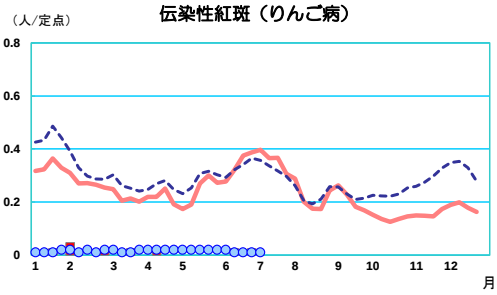
手足口病



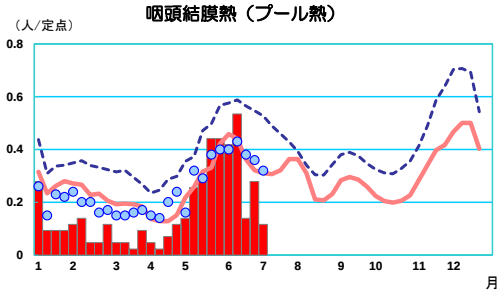
RSウイルス感染症



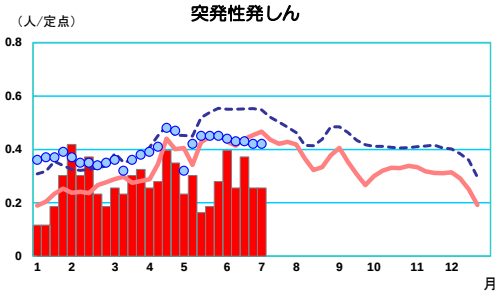
伝染性紅斑（りんご病）



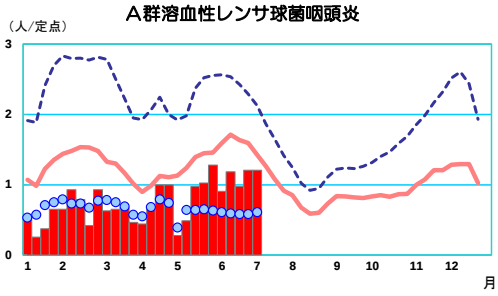
咽頭結膜熱（プール熱）



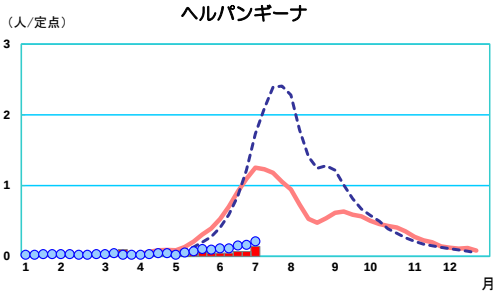
突発性発しん



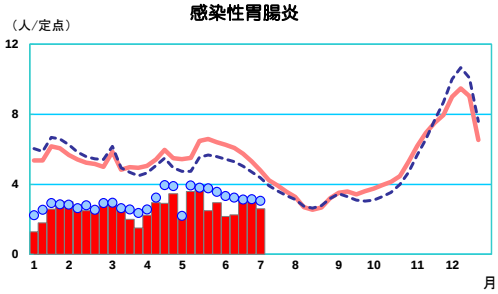
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



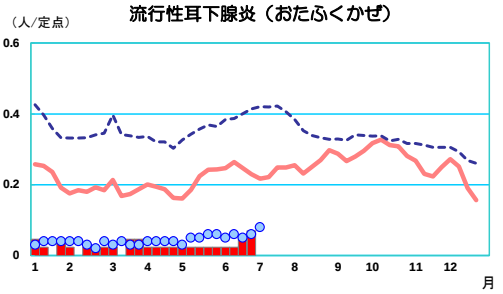
ヘルパンギーナ



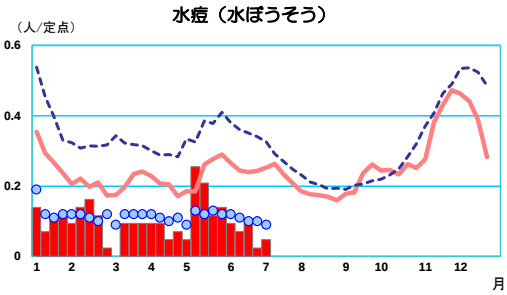
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

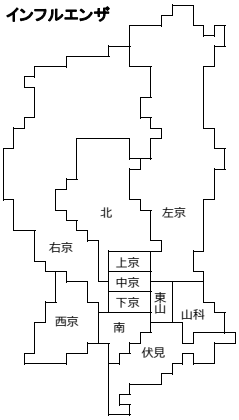


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２１年 第 27 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

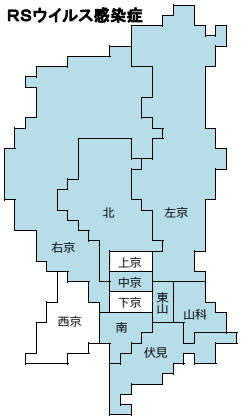
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

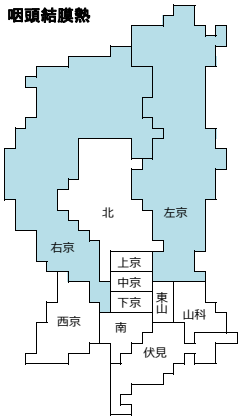
RSウイルス感染症



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 2.40	
北	2.25
上京	0
左京	2.75
中京	0.67
東山	1.50
山科	4.40
下京	0
南	0.33
右京	7.40
伏見	2.57
西京	0

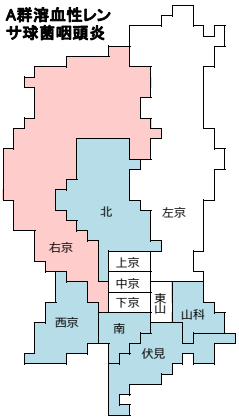
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.12	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.80
伏見	0
西京	0

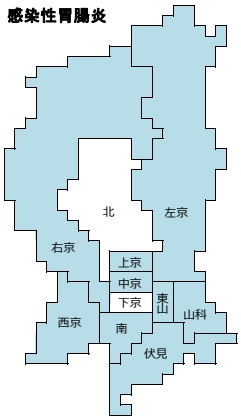
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 -

京都市 1.21	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.60
下京	0
南	0.33
右京	7.80
伏見	1.00
西京	0.20

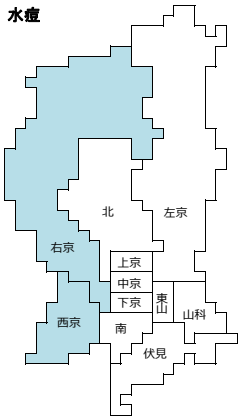
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 -

京都市 2.60	
北	0
上京	0.33
左京	3.75
中京	2.00
東山	2.00
山科	1.40
下京	0
南	1.33
右京	3.60
伏見	5.14
西京	4.20

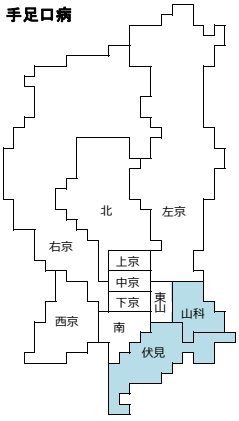
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.05	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0
西京	0.20

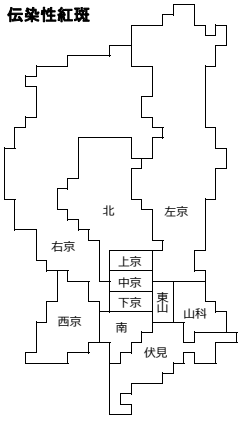
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.05	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.14
西京	0

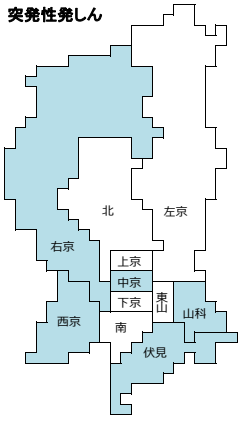
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

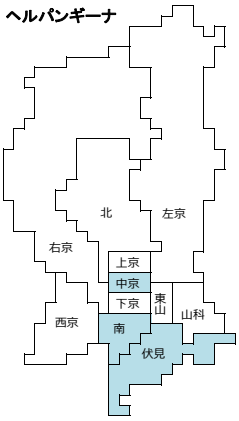
突発性発しん



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.26	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0.33
東山	0
山科	0.40
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0.86
西京	0.20

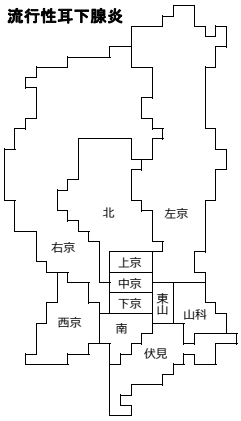
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.14	
北	0
上京	0
左京	0
中京	1.00
東山	0
山科	0
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0.29
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第27週（7月5日～7月11日） トピックス：＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

2021年第27週，京都市ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎（以下，溶連菌咽頭炎）の報告が52人ありました（定点あたり報告数1.21）。今週，全国の定点あたり報告数は0.61であり，京都市の溶連菌咽頭炎の報告は全国の約2倍と比較的多めになっています。なお，同一の病原体を原因とする劇症型溶血性レンサ球菌感染症（以下，劇症型感染症）の報告も今週1例あり，本年の累計報告数は7例になりました。

溶連菌咽頭炎は冬と春～初夏にかけて増える傾向がありましたが，新型コロナウイルス感染症の流行とその対策のためか，2020年4月ごろより大きく減少しています（図1）。ところが2021年のゴールデンウィーク前後から，京都市の定点あたり報告数は全国より多くなっています。行政区別では特に右京区での報告が多く，今年は第24週と第27週に警告レベル開始基準値である定点あたり報告数8以上になっています（図2）。報告数は定点医療機関で診断された数であり，必ずしも患者が在住する行政区とは一致しませんが，京都市内で限局して流行している可能性も考えられ，今後の動向に注意が必要です。

溶連菌咽頭炎の主な原因は化膿レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）です。レンサ球菌属はグラム陽性の球菌で，増殖するときに一本のひものように連なる（連鎖する）ことが特徴です(*1)。レンサ球菌属は細胞壁の抗原性によって分類されており（ランスフィールド分類），IとJを除くA群～V群までが知られています。「A群溶血性レンサ球菌」とは，免疫学的試験によってA群に分類されたレンサ球菌のうち，溶血性(*2)があるものをいい，このほとんどが化膿レンサ球菌です。

化膿レンサ球菌は，せきやくしゃみなどの飛沫を吸いこむことや，細菌がついた手で口や鼻などを触ることで感染します。感染してから2～5日後に発熱や倦怠感，病名にもなっている咽頭炎（のどの痛み）が現れ，嘔吐することもあります。このとき，舌にある乳頭が腫れてブツブツになり，イチゴ状に見えることもあります（苺舌といいます）。

重症化すると全身に皮疹が広がり，猩紅熱と言われる病態になることもあります。猩紅熱はかつて致命的な子供の感染症として恐れられていましたが，現在では抗生物質の投与により，猩紅熱で亡くなることはほとんどなくなりました。一方，子供に多くみられる溶連菌咽頭炎とは違い，同じ化膿レンサ球菌によっておこる劇症型感染症は成人に多く，進行が速いため致死率は約3割と極めて高いことが知られています。

溶連菌咽頭炎は飛沫や接触によって感染するため，マスクの着用や手洗いが効果的です。学校などで流行することもありますので，食事の前や家に帰ったときには手をしっかり洗いましょう。また，治療薬である抗生剤の服用を途中でやめてしまうと，ほかの人にうつしてしまう危険が高まるだけでなく，抗生物質が効きにくい細菌が出現して治療が困難になることもあります。病院で薬を処方されたときは，最後まできちんと飲みきりましょう。

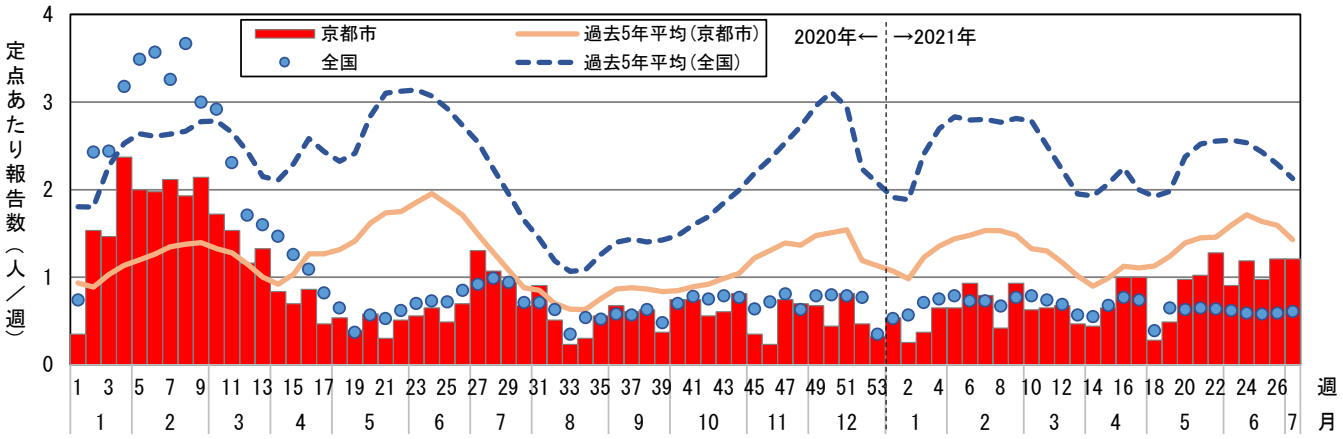


図1. 本市と全国の溶連菌咽頭炎の定点あたり報告数の推移

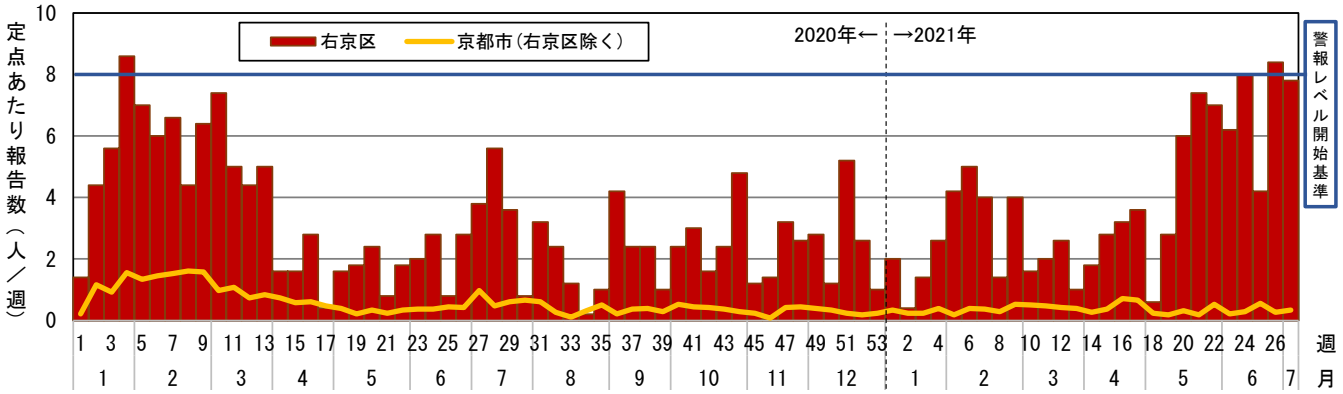


図2. 右京区と右京区を除く京都市の溶連菌咽頭炎の定点あたり報告数の推移

(*1)レンサ球菌以外に，ぶどうの房のようにくっついて増殖するブドウ球菌というものもいる。細胞分裂の方向と規則性，細菌同士の接着性によって鏡検したときの配列が異なるため，細菌同定の手掛かりになる。多数の細菌が連なるレンサ球菌やブドウ球菌と比べて，その個数が少ないものを細菌の数によって双球菌，四連球菌，八連球菌と言うこともある(右図)。

(*2)血液の入った固形培地で培養すると，細菌の種類によっては赤血球を破壊（溶血）する。赤血球が部分的に壊れると培地は暗い緑色になるが，これを不完全溶血（α溶血）という。赤血球を壊す能力がより高いと，広い範囲で赤血球が壊れて培地が透明になる。これを完全溶血（β溶血）という。化膿レンサ球菌のほとんどはβ溶血性を示す。なお，全く溶血しない場合はγ溶血性ということがある。

【参考文献】(以下，全て2021年7月15日閲覧。)
▼本文は以下のウェブサイトを参考に作成した。
○国立感染症研究所「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは」
（https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html）

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第27週

疾病,行政区別報告数　　2021年7月5日～2021年7月11日　　データ入手日:2021年7月14日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	9	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	11	1	－	15	－	－	－	－	－	－	－	－					
中京	－	2	－	－	6	－	－	－	1	3	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	3	－	－	4	－	－	－	－	－	－							
山科	－	22	－	3	7	－	1	－	2	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	1	－	1	4	－	－	－	－	1	－							
右京	－	37	4	39	18	1	－	－	1	－	－	－	－					
伏見	－	18	－	7	36	－	1	－	6	2	－	－	－					
西京	－	－	－	1	21	1	－	－	1	－	－	－	－					
京都市計	－	103	5	52	112	2	2	－	11	6	－	－	－	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	2.25	－	0.25	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	2.75	0.25	－	3.75	－	－	－	－	－	－	－	－					
中京	－	0.67	－	－	2.00	－	－	－	0.33	1.00	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	1.50	－	－	2.00	－	－	－	－	－	－							
山科	－	4.40	－	0.60	1.40	－	0.20	－	0.40	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	0.33	－	0.33	1.33	－	－	－	－	0.33	－							
右京	－	7.40	0.80	7.80	3.60	0.20	－	－	0.20	－	－	－	－					
伏見	－	2.57	－	1.00	5.14	－	0.14	－	0.86	0.29	－	－	－					
西京	－	－	－	0.20	4.20	0.20	－	－	0.20	－	－	－	－					
京都市計	－	2.40	0.12	1.21	2.60	0.05	0.05	－	0.26	0.14	－	－	－	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2021年第27週

年齢階級, 疾病別報告数　　2021年7月5日～2021年7月11日　　データ入手日:2021年7月14日

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	103	6	14	33	24	19	5	2	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		5	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	-	3	5	9	8	7	3	4	1	3	2	7	-	-						
感染性胃腸炎		112	2	9	15	13	11	17	5	7	1	4	2	15	3	8						
水　　痘		2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-						
手 足 口 病		2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		11	-	7	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		6	-	-	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2.40	0.14	0.33	0.77	0.56	0.44	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.12	-	-	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.21	-	0.07	0.12	0.21	0.19	0.16	0.07	0.09	0.02	0.07	0.05	0.16	-	-						
感染性胃腸炎		2.60	0.05	0.21	0.35	0.30	0.26	0.40	0.12	0.16	0.02	0.09	0.05	0.35	0.07	0.19						
水　　痘		0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-						
手 足 口 病		0.05	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.26	-	0.16	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.14	-	-	0.07	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1　インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第27週

週，疾病別報告数　　データ入手日:2021年7月14日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	170	155	140	146	109	103
咽頭結膜熱	19	18	23	6	12	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	39	51	42	52	52
感染性胃腸炎	127	93	97	140	131	112
水痘	6	4	3	4	1	2
手足口病	1	11	4	4	10	2
伝染性紅斑	–	–	1	–	1	–
突発性発しん	12	17	11	16	11	11
ヘルパンギーナ	2	2	2	3	3	6
流行性耳下腺炎	1	1	1	2	3	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	–	–	1	1	3	–
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	393	340	334	364	336	293

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	3.95	3.60	3.26	3.40	2.53	2.40
咽頭結膜熱	0.44	0.42	0.53	0.14	0.28	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.28	0.91	1.19	0.98	1.21	1.21
感染性胃腸炎	2.95	2.16	2.26	3.26	3.05	2.60
水痘	0.14	0.09	0.07	0.09	0.02	0.05
手足口病	0.02	0.26	0.09	0.09	0.23	0.05
伝染性紅斑	–	–	0.02	–	0.02	–
突発性発しん	0.28	0.40	0.26	0.37	0.26	0.26
ヘルパンギーナ	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07	0.14
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.02	0.05	0.07	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	–	–	0.10	0.10	0.30	–
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	9.14	7.91	7.84	8.54	8.04	6.81

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。